

高経大周辺 ごみ拾い

（イビューサと
学童の子どもら）

高崎

NPO法人国際ボランティア学生協会IVUSA（イビューサ）の学生24人が16日、高崎市の高崎経済大周辺で清掃活動を行った。市内の学童保育を利用する子どもら8人と初めて一緒に取り組んだ（写真）。

同大を中心に県内外の学生でつくるイビューサの群馬高崎クラブによる取り組み。同クラブは定期的に同大や県立女子大などの周辺で清掃活動をしている。

小さい時からごみ問題に目を向けてもらおうと、ボランティアを機に知り合った学童保育指導員に声をかけた。3班に分かれ、約2時間かけて道端のごみを拾つた。同クラブの小池大輝さんは「子どもと一緒に清掃して回る様子を

見て、ごみについて地域の人も考えるきっかけになれば」と期待した。（米原守）

